

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									3.3
Q-1 室内環境									3.4
1 音環境									3.5
1.1 騒音									
1.1.1 暗騒音レベル									
1.1.2 設備騒音対策									
1.2 遮音									
1.2.1 開口部遮音性能									
1.2.2 界壁遮音性能									
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									2.4
2.1 室温制御									
2.1.1 室温設定									
2.1.2 換気熱・温度制御性									
2.1.3 外皮性能					W				
2.1.4 ゾーン別制御性									
2.1.5 温度・湿度制御									
2.1.6 個別制御									
2.1.7 時差外空室に対する配慮									
2.1.8 監視システム									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									3.8
3.1 昼光利用									
3.1.1 昼光率									
3.1.2 方位別開口									
3.1.3 昼光利用設備					W				
3.2 グレア対策									
3.2.1 曇りガラスのグレア									
3.2.2 昼光制御					W				
3.3 照度									
3.3.1 照度									
3.3.2 照度対策									
3.4 照明制御									
4 空気環境									4.3
4.1 発生源対策									
4.1.1 化学物質汚染									
4.1.2 化学物質汚染									
4.1.3 デニ・カビ等									
4.1.4 レジオネラ対策									
4.2 換気									
4.2.1 換気量									
4.2.2 自然換気性能									
4.2.3 取り入れ外気への配慮									
4.2.4 給気計画									
4.3 運用管理									
4.3.1 CO ₂ の監視									
4.3.2 喫煙の制御									
Q-2 サービス性能									3.5
1 機能性									3.8
1.1 機能性・使いやすさ									
1.1.1 広さ・収納性									
1.1.2 高度情報通信設備対応									
1.1.3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1.2.1 広さ感・景観									
1.2.2 リフレッシュスペース									
1.2.3 内装計画									
2 耐用性・信頼性									2.8
2.1 耐震・免震									
2.1.1 耐震性									
2.1.2 免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W				
2.2.2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W				
2.2.3 配管・配線材の更新必要間隔					W				
2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔					W				
2.3 適切な更新									
2.3.1 床土(床板)・外壁仕上げ材の更新									
2.3.2 配管・配線材の更新									
2.3.3 主要設備機器の更新									
2.4 信頼性									
2.4.1 空調・換気設備									
2.4.2 給排水・衛生設備									
2.4.3 電気設備									
2.4.4 機械・配管支持方法									
2.4.5 通信・情報設備									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	W	G	S						
3 対応性・更新性					3.9	0.29	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり				主用途の倉庫で算定。 倉庫荷重5,000N/m ² 、事務所は2,900N/m ² 。 1・2階トイレ周りPSと天井内配管にて更新ルートを確認。 1階は廊下に面し、倉庫内は上下固定位置に配線ルートを確認。 同上。	3.4	0.31	-	-	
1 階高のゆとり					3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり					5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性					3.6	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					4.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					5.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					5.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-		
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.38	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出		G			3.0	0.40	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.40	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.2
LR-1 エネルギー						0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制	W			事務所の仕様基準は171点。	5.0	0.05	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.27	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			仕様基準による数値を確保。	3.3	0.41	-	-	3.2
4 効率的運用					3.5	0.27	-	-	3.5
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W			エネルギー消費の比較を行い運用管理体制の働きかけを行った。	4.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル						0.30	-	-	3.5
1 水資源保護					3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 節水	W			節水大便器、自動センサー小便器の採用。	4.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					3.5	0.85	-	-	3.5
2.1 資源の再利用効率					3.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				3.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W			有害物質を含まない材料を使用。	5.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W			外壁材鉄板、内壁のLGS下地+GB+ビニルクロ、床OAフロア等の採	5.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤を含まない物を使用している。	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境						0.30	-	-	2.9
1 大気汚染防止	W				3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					5.0	0.10	-	-	5.0
2.1 騒音				工業地域・第4種区域での性能を確認。	5.0	1.00	-	-	
2.2 振動					-	-	-	-	
2.3 悪臭					-	-	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制					3.0	0.10	-	-	3.0
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				「光害対策ガイドライン」による、広告塔は照明なし。	5.0	0.05	-	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.9	0.30	-	-	3.9
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制				公共交通機関の利用。適切な駐車台数確保、荷別用駐車施設確	5.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S	事業系ゴミ回収スペースを設置。毎日の排雪と入出荷車両を考	4.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別点表		工場	事務所	-	-	面積按分
		1,855 m ²	347 m ²	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	-	5.0	-	-	5.0
3	設備システムの ERRIによる評価	-	-	-	-	3.252467905
	高効率化 個別設備による評価	3.0	4.6	-	-	
3.1	空調設備	-	5.0	-	-	
3.2	換気設備	-	-	-	-	
3.3	照明設備	3.0	4.0	-	-	
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-